

★会社は金融機関にこう評価されている！『融資に繋がる高評価のコツ4選』

～金融機関が会社を評価するポイント「銀行は貴社のどこを見ているのか？」～

◆はじめに

金融機関から融資を受ける際には、いわゆる審査に通過しなければなりません。独自の基準で審査され、条件を満たしていることで資金を調達できます。そのため、経営者としては、条件を満たせるように努力しなければなりません。審査の基準は機密情報であり、明確な情報は公開されていない状況です。

ただ、基本的な方針や評価のポイントは知れ渡っています。今回はそれらを踏まえて、融資を受けられるように会社を高評価してもらうポイントや秘訣を解説します。

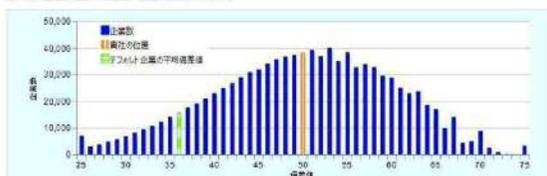
◆金融機関ではCRDスコアを活用した評価が基本

金融機関が提出された決算書の内容を分析し、点数付けする行為を指します。一般社団法人CRD協会と呼ばれるものがあり、これらと金融機関が連携して、点数を計算する仕組みです。

単純に提出された決算書の情報を分析するだけでなく、蓄積されたデータから「倒産の予兆はあるかどうか」を分析しています。膨大なデータを活用して分析しているため、非常に信頼性が高いと評価されていることが特徴です。

【CRDモデルによる総合評価結果】

ここでは、貴社の決算書をCRDモデルで評価し、全国約100万社の中小企業における貴社の相対的な位置づけを、CRDランク(A～E)及び偏差値で表しています。偏差値は高いほど信用力が高いことを示しています。また順位は業種内・都道府県内・売上規模区分内の貴社の順位を示しています。



決算期	CRDランク (A～E)	貴社 偏差値	デファクト企業 平均偏差値	業種内 企業群での順位	売上帯 企業群での順位	売上規模区分	同売上規模企業群での順位
2018/04期 (12ヶ月)	C	50	36	12,811位 (16,848社中)	29,782位 (31,560社中)	5億円超 (10億円以下)	43,832位 (71,819社中)
—	(—)						
—	(—)						



☞ CRD経営診断報告書 サンプル

◆金融機関から高評価を得て融資につなげるコツ4選！

コツ① 資金繰りの見直し

金融機関への提出を踏まえて『資金繰り表』を作成しましょう！資金不足時期と金額を明確にすることで売上の増加や原価の軽減など改善策を実行することで、借り換えなどの融資という選択肢もあります。

コツ② 事業計画の最新化

目標を定めておけば「達成できているかどうか」を示せます。理想ではなく、現実的に達成できる値を設定しましょう。最新化する前に前回計画時の前提条件の見直しから進めましょう！

コツ③ 自己資本比率の向上

「総資本のうち純資産の占める割合」を示す値である自己資本比率を高められるように意識しましょう！総資本を減少させ黒字の拡大を目指しましょう。

コツ④ 債務償還年数の短縮

一般用には10年以内であれば問題ないとされますが、高評価を目指すなら7年以内まで短縮が理想です。年数を短縮するには利益の最大化を目指し会社に残るお金を増やしましょう！

◆さいごに

『ウチの会社の偏差値は？格付けは？』現状の財務診断受けてみませんか？金融機関から融資してもらうためには、会社の評価を高めることが大切です。審査に必要な書類を精査し、良い融資先であることをアピールしなければなりません。

ただ、虚偽の記載はできないため、実際に会社の経営で改善していくことが求められます。貸借対照表や損益計算書など、金融機関が重視する数値の改善を目指しましょう。詳しくは組合事務局までお問い合わせください！

貴社のCRDスコアをカンタンに診断いたします！